

【取り組みの目的・内容】

事業① 産業周知事業

産業界



H18から商船系高専と産業界などとの強い連携事業で、継続的に海洋人材確保の取組み

商船系高専



事業② 海洋教育事業

海洋に関する理解を促進する事

産業界との連携で現場見学などを行い、新技術の体験や海洋業界についてまなぶ。

それぞれの年齢で適切なイベントを体験

海洋に関する座学的なものや、体験的な行事を行う。地域性を出した行事も実施する。

行事を長年継続する事で、成長過程で何度も海洋を体験する

幼児・小学校低学年対象行事

将来日本を支える海洋人材の確保



新産業を牽引する人材育成

高専フェア -KOSEN FAIR-

全国高専との連携

融合

事業①
事業②



開催地域の核となる工業高専などと協力し、高度技術も融合させる。少年層の全域にわたって、そして保護者や教育者も対象とする総合体験型学習イベント。

【成果指標】

	H28	H29	H30
入試倍率(実施年度)	1.55	1.75	1.85
高専認知向上人数	—	82名	339名
海洋興味指数	—	4.1	4.3

【工程表】 ●海洋教育行事 ★産業現場見学

	7-9月	10-12月	1-3月
北海道東北 関東・北陸	★●●● 東京海洋大	●●●●	海事フォーラム ★★●
中部・関西	★●●	高専フェア ●●●●	●
中国地方	★★●●●●	●●●●	●●
九州・四国	高専フェア ●●●●●	高専フェア ●●●●	高専フェア ★★●
運営その他	運営委員会 連携協議会 実務者会議	運営委員会 実務者会議	運営委員会 連携協議会 外部評価

各地域

全国各地で
広域イベント展開

【実施体制】



国立高専における次世代の海洋人材の育成に関する協議会(継続事業)

【第4期中期目標期間への展開(見込み)】

海洋教育事業と産業周知事業の広域での取組みで、全国各地から将来の海洋人材を発掘する。これにより商船志望者の出身地域の多様化が進む事が見込まれ、商船学科倍率2.0以上の継続をめざす。更に学内のユニークな学科や地域との連携により、広域学生を育成する唯一の個性を持った高専となっていく。